

731部隊のすべて

～人体実験・細菌戦～

旧日本軍の中国侵略のなかで、残虐行為をおこした悪例が731部隊の問題です。ハルビンの731部隊では、中国人などを人体実験に使いました。凍傷実験、毒ガスの実験、ペスト菌などの病原菌を使った実験などを行い、その「材料」となった被害者はすべて殺しました。

また、ここで「実験」した毒ガス、細菌などを実際の戦闘に使用しました。細菌戦の事実については、731部隊所属の金子順一論文が最近発見され、そ

の使用の事実が明らかになりました。

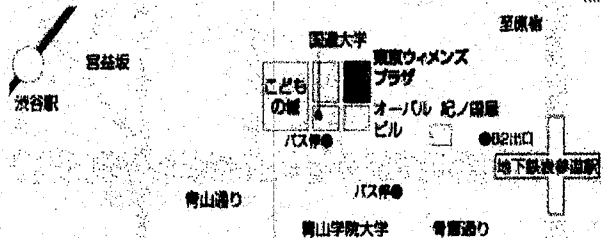
今回、ハルビン・731部隊の人体実験の被害者遺族と浙江省から細菌戦の被害者を招いて証言集会を開きます。中国東北部の人体実験の被害者遺族と浙江省の細菌戦の被害者が日本で一同に会するのは初めてのことです。

戦争が終わって66年たち、中国の被害者は皆高齢になりました。この事実を日本の皆さんに伝えたいと来日されます。多くの方のご来場をお待ちします。

日時：4月15日（日）13:30～16:30

場所：東京ウィメンズプラザ・ホール

(地下鉄・銀座線・千代田線・半蔵門線・表参道、徒歩8分)



資料代 1,000円

被害者5人がお話しします

プログラム

合唱・・・悪魔の飽食合唱団

王亦兵さん（731部隊の人体実験の被害者遺族）

胡賢忠さん（浙江省・寧波の細菌戦被害者）

徐万智さん（湖南省・常德の細菌戦被害者遺族、
日本軍細菌戦被害者協会理事）

王選さん（中国政治協商会議浙江省委員会・委員、
浙江省崇山村の細菌戦被害者遺族）

新発見の金子論文の意味

奈須重雄さん（731部隊・細菌戦資料センター）

解説

松村高夫さん（慶応大学教授）

訴え

周桐さん（遺棄毒ガス教化事件被害者、裁判原告）

主催：NPO法人731部隊・細菌戦資料センター

東京都港区西新橋1-21-5

連絡先：03-3501-5558

731部隊被害者遺族を支える会

東京都新宿区四谷1-2伊藤ビル3F

連絡先：03-5379-2607